

テーマ

持続可能性と競争法・競争政策

適用
分野

産業一般、独禁法、消費者法



研究
名称

持続可能性と競争法・競争政策の調整に関する研究

氏名
所属

土佐（濱谷）和生 教授
法学部 法学科

内容

●**特徴**：近年、持続可能性に関わる事業者の各種行為等を競争法上どのように取扱うべきかが課題とされている。もとより持続可能性の達成は、直接には政府によるさまざまな公的規制に依るが、間接に競争法・競争政策もこれに（剣または盾として）積極・消極に関与することがある。例えば、複数事業者間で持続可能性に係る技術イノベーション競争を回避する共同行為を規制する場合や、事業者による環境負荷を低減する自主的取組みにおける正当化事由として持続可能性に係るメリットを総合考慮する場合等が考えられる。



VS.



●**研究内容**：この研究では、持続可能性と競争法・競争政策の調整について、建設的な議論をさらに推し進めるべく、持続可能性の文脈における競争法の具体的な適用においてますます論争的になっている論点を検討する。

具体的には、例えば、①欧米等の**諸外国において、現在このテーマはどのように論じられているか。**②わが国ではまだないが、上記の**諸外国ではどのような具体的事例があるか。**③持続可能性の向上・達成に向けられる事業者間の**共同行為を、独禁法違反とされないように行うには、どのような点に留意すべきか**等について先端的・先導的な分析検討を行っていく。

【この研究者のテーマ関連業績】
〔研究ノート〕持続可能性と競争法・競争政策
[甲南法学62巻1-4号115頁以下](#)

《SDGs と競争法・競争政策は対立するか、具体的にどのようにして調整していくか》

キーワード

『持続可能性・SDGs』 『独禁法・競争法』 『共同行為の適用除外』

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究